



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語
一年

九月
第②週



学習を始める前に

①必ず用意してください

・ノート

(学習しやすいように、漢字のノートと国語のノートを分けるなど工夫をすること。)

・筆記用具 (赤ペンも用意すること。)

②注意

・大事だと思うところはノートに書いてください。

・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後の**お知らせ**を見てください。

・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示に従ってください。

・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりするなど、それぞれ工夫をください。

先週の宿題から

1. 漢字

今日の授業で書いた新出漢字の練習。

文章で書けるように、新出漢字以外の漢字も復習のため練習しましょう。

2. 音読 「麦わら帽子」を読みましょう。

3. 言葉の勉強

「言い張る」「口調」を使って、文を作りましょう。

① 「言い張る」 強く主張する。

例…自分の責任ではないと言い張る。

② 「口調」 話し方。

例…偉そうな口調で、ものを言う。

漢字テスト ①

読み方を書きましよう。

帽子

ぼうし

浜

はま

小舟

こぶね

沈む

しずむ

翼

つばさ

渋い

しぶい

脱ぐ

ぬぐ

揺れる

ゆれる

妙

みよう

乾く

かわく

漢字のテスト ②

- (1) 麦わらボウシをかぶる。
- (2) 漁師がはまで船を直す。
- (3) こぶねで島に行く。
- (4) 小さい岩山がしずむ。
- (5) つばさを傷つけたカモメを見つけた。
- (6) しぶい顔でマキを見た。
- (7) ぬれた帽子をぬいだ。
- (8) 台風で船がゆれる。
- (9) 風の音がみように大きく聞こえる。
- (10) 洋服が暑さでかわく。

漢字のテスト

《 答え合せをしましょう。 》

- (1) 麦わら**帽子**をかぶる。
- (2) 漁師が**浜**で船を直す。
- (3) **小舟**で島に行く。
- (4) 小さい岩山が**沈む**。
- (5) **翼**を傷つけたカモメを見つけた。
- (6) **渋い**顔でマキを見た。
- (7) ぬれた帽子を**脱いだ**。
- (8) 台風で船が**揺れる**。
- (9) 風の音が**妙**に大きく聞こえる。
- (10) 洋服が暑さで**乾く**。

降りて調べると言い張って、舟を着けさせた。駆け寄って見ると、やはり翼を傷つけたらしいカモメが、首を立て、くちばしを突き出して向ってきた。

「わたしここに残る。」^①

言い出したらきかない口調のマキに、

「じきに潮来るで、いかん。」

「あんちや^②は止めたが、マキは動かなかった。

「勝手にすつとええわ。」おしまいに、渋い顔であんちやはふくれ、マキを残して、舟を出した。舟はすぐに小さくなり、大きな無人島の島かげを曲がって消えた。

しよっぱい風の中で、マキは長いことカモメと向かい合っていたが、カモメ^③は無事な片方の翼で砂を飛ばしてマキを近づけなかった。何かにおびえたような激しさなので、おまえの傷のことを心配して残ってやったのにと、マキも舌^④打ちしたい気持ちになりかけたが、そこでやつと、カモメは麦わら帽子におびえているのだと気づいた。見知らぬ大きな島にでも見えて、怖かったにちがいない。

帽子を脱ぐと、日の熱さが頭を燃やした。それでも、カモメがおとなしくなったのに気をよくして、マキは髪のはてりを忘れていった。

(1) ① 「ここに残る」とマキが言ったのはなぜですか。

カモメの傷が心配だったから。(飛べないカモメが気になったから。)

(2) ② 「あんちやはとめた」のは、この島がどんな島だからですか。

潮が満ちると岩山の先だけ残して沈んでしまう島だから。

(3) ③ 「カモメは無事な片方の翼で砂を飛ばしてマキを近づけなかった」理由を、マキはなぜだと気づきましたか。

麦わら帽子におびえているから。

(4) ④ 「舌打ちしたい気持ち」とは、何に対してですか。

マキを近づけないカモメ。

(5) マキが帽子を脱いだのはどうしてですか。

カモメをおびえさせないため。

(6) マキはどんな性格でしょう。文章から読み取ってみましょう。

自分の考えや、意思を曲げないがんこな性格。

ウニの数が多いの夢中になって、あんちやたちも、マキのことをうっかり忘れていった。

潮が満ち始める。

①小島は海におぼれ始める。

大事な大事な麦わら帽子なのに、マキはそこへカモメを入れていた。おとなし入ってくれたことがうれしくて、麦わら帽子がぬれてしまっただめになることはかまわなかった。早く連れて帰りたいとあせる気持ちを、^②海の冷たさがくるぶしから冷やしていった。残された岩山のすみっこで、マキは麦わら帽子を抱えこみ、舟を待った。

声を上げてみても、始まらなかった。

ひざからもまで、海がひたした。マキは立ち上がり、くちびるをかんで向こうの角を見つめた。カモメもおとなしく帽子に収まっている。^③海のおいが強くなる。マキは、島を見つめることにつかれ、ちっとは怖い気持ちにもなつて、カモメを見つめることにした。小さな瞳の中に映る自分の小麦色の顔が、くしゃんとゆがんでべそをかいていた。

(1) 島が沈み始めたことを、擬人法を用いて表現している一文を書きましょう。

*擬人法 人間以外のものを人間に見立てて表現する技法

小島は海におぼれ始める。

(2) ①「大事な大事な麦わら帽子なのに、マキはそこへカモメを入れている」ことから、マキのどんな思いが読み取れますか。

帽子よりカモメを大事に思っている。

(3) ②「海の冷たさがくるぶしから冷やしていった」とありますが、これはどういうことを表していますか。

潮が満ち初め、だんだん海面が上がってきて、危険がせまってきている。

(4) ③「怖い気持ち」になっていることがわかる一文をさがしましょう。

小さな瞳の中に映る自分の小麦色の顔が、くしゃんとゆがんでべそをかいていた。

海がおへそまで上がってくる。

マキは麦わら帽子を差し上げる。じきにつかれて腕がしびれてくる。麦わら帽子が揺れる。

その揺れに驚いたように、カモメが大きく翼を差し上げ、激しくはばたかせた。それが小さな白い旗に見えて、

「あつ、あそこじゃ。」

② あんちやたちが、舟をまつすぐに飛ばしてくることができた。

小舟に引き上げられて、やっとおぼれずにすんだマキは、口をきかず、引き上げたあんちやたちも口がきけず、カモメのはばたきの音だけが、妙に大きく聞こえた。

マキの言いたい言葉は、ぐっしよりぬれた麦わら帽子を抱きしめる、か細い腕が語っていた。

麦わら帽子は乾いたけれど、形がくずれ、色も落ちて、おかしなぷかぷかの帽子になってしまった。

⑤ けれどもマキは、大いばりでそいつをかぶって浜を歩く。そんなマキの頭の上を、犬みたいに付きまとして飛ぶカモメがいて、マキはそれが得意だったのだ。

あんちやたちは、ひと夏じゅう、マキも麦わら帽子もカモメも、まぶしくて見ることができなかつた

(1) —①「麦わら帽子を差し上げる」とありますが、マキはなぜこのようなことをしたのですか。

カモメが海水につからないようにするため。

(2) —②「あんちやたちが、舟をまつすぐに飛ばしてくることができた」のは、なぜですか。

カモメが大きく翼を差し上げてはばたかせたのが、小さい白旗に見えたから。

(3) —③「口をきかず」と—④「口がきけず」から、どんなことがわかりますか。

マキは（**おそろしさ**）のために口をきくことができず、あんちやたちは気を使って（**何も言わずにいる**）。

(4) —⑤「大いばり」でマキが麦わら帽子をかぶっているのはなぜですか。
カモメが頭の上に付きまとして飛ぶのが得意だったから。（カモメを助けた麦わら帽子をかぶっているから。）

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

漢字テストでできなかった漢字の復習と、新出漢字以外の漢字の復習をしましょう。

2. 音読 「麦わら帽子」を読みましょう。

3. 来週の授業の準備として

来週は手紙の書き方を勉強します。次の中からの手紙を書くのか考えておきましょう。そして、何を書くのか内容も考えましょう。

①他校の中学生に、自分たちの学校の特徴を紹介する手紙。

②見学したい施設（工場、市役所、デパート）にあてて、理由を述べ、都合を問い合わせる手紙。

③以前お世話になった先生に、今の中学校生活の様子を伝える手紙。



お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、Webページ <http://JPNCClass.com> を
見てください。
 - ❖ このビデオのスライドもWebページからダウンロードや印刷が
できます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

中学

国語 一年

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月	
		発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、 メモをもとにスピーチ をしよう。	野原はうたう 好きな詩を、登場する 生き物の気持ちになっ て朗読しよう。	話す／聞く 一年間の学習を通して 先生の話を聞き、学習 を進めよう。
文章の推敲と原稿用紙の 使い方 推敲のポイントと原稿 用紙のうえでの推敲の 仕方を知ろう。原稿用 紙の決まりを確かめよ う。	情報を文章にまとめよう 自分の身の回りのこと について、情報を集め、 文章にまとめよう。	発見したことを伝えよう スピーチの構成を考え、 スピーチメモを書こう。	野原はうたう 自分の好きな生き物を 選んで、詩を作ろう。	書く 新聞記事 記事の要約をし、記事 に対する自分の意見 ^{コメント} や感想を書こう。
光と風からもらった贈り 物 筆者が「高原」のどん なところに、言葉の豊 かさを感じているかを とらえよう。	クジラたちの声 クジラの情報伝達に関 する二つの問いをおさ え、音の役割、海中で の情報伝達に音が最適 である理由をつかもう。	ちよつと立ち止まって 各図の説明を通して、 ものの見方について、 筆者が述べていること をとらえよう。	野原はうたう 作者が生き物の姿にど んな思いを感じている かを、読み取ろう。 にじの見える橋 少年の行動や心情に着 目し、にじを見る前と あとの気持ちの変化を とらえよう。	読む 新聞記事 新聞記事を読もう。
混同しやすい漢字 形が似ていたり音が同 じであったりする漢字 を知り、間違えて使わ ないように気をつけよ う。	言葉の単位 文節や単語に区切る方 法を知ろう。	漢字の組み立てと部首 漢字の部分のよび名と 表すものを覚えよう。	話し言葉と書き言葉 話し言葉と書き言葉の 違いをおさえよう。	言葉

12月	11月	10月	9月	8月	
					話す／聞く
					書く
					読む
					言葉

	<p>11月</p> <p>い る は 歌</p> <p>仮名のみ の原文を、 古文の調子 にのって読 み、古 文の調子に のって読み、 聞いてもら おう。</p>		<p>9月</p> <p>手紙を書こう</p> <p>手紙の形式を知り、目的や相手を考え、手紙が書けるようになるう。</p>	<p>8月</p> <p>さつき</p> <p>読み取った内容を、自分自身の体験と重ねて感想を書こう。</p> <p>読書記録</p> <p>読んだ本の読書記録を書いて残そう。</p>	
<p>12月</p> <p>未来をひらく微生物</p> <p>環境問題について課題を見つけ、レポートにまとめよう。</p>		<p>10月</p> <p>大人になれなかった弟たち</p> <p>心に残ったこと、自分の生活と比べてどんなことを考えたのか、感想文を書こう。</p>	<p>手紙を書こう</p> <p>手紙の形式を知り、目的や相手を考え、手紙が書けるようになるう。</p>	<p>さつき</p> <p>読み取った内容を、自分自身の体験と重ねて感想を書こう。</p> <p>読書記録</p> <p>読んだ本の読書記録を書いて残そう。</p>	
<p>12月</p> <p>未来をひらく微生物</p> <p>自然の仕組みの中で、微生物の働きが、環境問題の解決どのように利用されているのか読み取ろう。</p>	<p>11月</p> <p>い る は 歌</p> <p>古文の言葉の響きや調子に読み慣れよう。</p> <p>蓬菜の玉の枝</p> <p>古典に対する興味や関心をもつて読もう。</p> <p>今に生きる言葉</p> <p>漢文独特の言い回しに慣れよう。「矛盾」がどんなエピソードからどんな意味に使われるようになったのか確かめよう。</p>	<p>10月</p> <p>大人になれなかった弟たち</p> <p>表現に着目し、登場人物の心情や作者の思いを読み取ろう。</p>	<p>9月</p> <p>麦わら帽子</p> <p>麦わら帽子やカモメに對するマキの気持ちと、その移り変わりを読み取ろう。</p>	<p>8月</p> <p>さつき</p> <p>助けを呼びに走る場面や、助かった正作を見上げる場面の、惇の胸中を表す言葉に注目して読もう。</p>	
<p>12月</p> <p>文の組み立て</p> <p>文の成分のそれぞれの働きや、文節どうしの関係を理解しよう。</p>	<p>11月</p> <p>い る は 歌</p> <p>古文の言葉の響きや調子に読み慣れよう。</p> <p>漢字の音訓</p> <p>音と訓それぞれの読み方と、意味を考えよう。</p> <p>古典の言葉</p> <p>文語と口語の違いを考えよう。</p>	<p>10月</p> <p>漢字四字の熟語</p> <p>漢字四字の意味をおさえよう。</p>	<p>9月</p> <p>漢語・和語・外来語</p> <p>漢語・和語・外来語の分類ができるようになるう。</p>	<p>8月</p> <p>漢語・和語・外来語</p> <p>漢語・和語・外来語の分類ができるようになるう。</p>	

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
		心に残る思いで読み手の興味を引くように、発表しよう。		
	言葉を調べよう 言葉についての課題を調べ、資料にまとめる。	心に残る思いで今までの経験で、自分が成長したと思えることや、変わったと思うことを思い出して、文章にまとめよう。	江戸からのメッセージ 江戸の知恵を今の時代に生かせることは何か考え、それをまとめよう。	書く
	胸の底の人と言葉たち 人や言葉との出会いを読み取り、筆者がわたしたちに願うことは何かを考えよう。	少年の日の思い出 登場人物の心情の移り変わりをとらえ、生き方を考えよう。	江戸からのメッセージ リサイクルを徹底した江戸っ子の生活と、そこから導かれた筆者の主張をつかもう。	読む
〈一年生の漢字〉 一年生で習った漢字の復習をしよう。		漢字の成り立ち 漢字の成り立ちをおさえ、成り立ちで意味や読みを類推できることを知ろう。	辞典を活用しよう 国語辞典、漢和辞典の使い方を知り、実際に様々な言葉を調べよう。	言葉
		指示する語句と接続する語句 指示する語句と接続する語句の種類や用法を理解しよう。		